

2023/11/27 鬼木まこと活動報告

放課後児童支援員の処遇改善は喫緊の課題

今国会から所属している参議院内閣委員会にて11月14日に質問に立ちました。自治労本部総合公共民間局長時代から多くの課題についてお聞かせ頂いていた放課後児童クラブに関連して、加藤子ども政策担当大臣と子ども家庭庁に対し質問しました。

政府が新・放課後子ども総合プランで掲げた放課後児童クラブの受け皿整備目標の達成が厳しくなっている根底には支援員の確保・育成・定着の困難さの問題があり、その原因は支援員の賃金の低さと雇用の不安であるといえます。放課後児童クラブの必要性や重要性に対する自治体の認識があやふやになっているため、責任と問題意識、専門性を持った支援員が常勤職員ではなく非正規職員という処遇となっていると指摘し、国が責任を持って自治体に体制整備などへの理解を進めるとともに、支援員の処遇改善に決意を持って取り組むよう大臣に求めました。総合プランの目標達成には、常勤職員への転換を含めた支援員の処遇改善が喫緊の課題であり、今後も継続して注視していきます。